

世界の最先端経営学で読み解く!

これからの新規事業立ち上げ戦略

～個別ビジネスへの経営学の応用の仕方を身に付ける!～



株式会社ティーシーコンサルティング 代表取締役社長 / 博士(政策・メディア)Ph.D. **富田 賢氏**

2月8日(水) 14:00～17:00

世界最高峰の経営学会であるAcademy of Management (AoM)のジャーナルやHarvard Business Reviewをはじめ、世界的なトップレベルのジャーナルには、次々と先端的な経営理論が発表され、研究が進展しています。しかし、実際のビジネスにおいて、そういった世界最先端の経営学を利用することはなかなか難しいことでもあります。

日本企業が今これからの時代、新規事業を立ち上げていくにあたって示唆となる最先端の経営学について、講師の約8年で170社以上の豊富な実際のコンサルティング経験を交えて、経営学を実践的にどのように具体的なビジネスで用いていけばよいのかを解説します。講師は、2016年に慶應義塾大学でアライアンスの数理モデル研究で博士号を取得している他、国際学会にて優秀な研究に与えられるアワードも受賞しています。毎年、米国にて開催されるAoMにも出席しており、実際の国際学会での経験も踏まえた解説となります。

よく経営学が役立つか否かの議論がありますが、それは、経営学の利用の仕方次第となります。もちろん経営学は、そのまますぐに実務に役立つわけではなく、経営戦略や組織運営などの経営上の意思決定について、すべての答えを的確に指し示せるものではありません。また、経営学をビジネスの現場でそのまま単純に用いようとすると、弊害や摩擦を生み出すだけで具体的なメリットを得ることができないといったことも起こります。

実務において経営学を有効活用するためには、経営学を“経営判断の指標”や“思考の軸”として活用するスタンスが必要です。また、むやみやたらに、自らが知っている限られた経営理論を用いるのではなく、多くの経営学研究の中から、目の前の具体的な問題の解決に適した経営理論を選択して用いることが大切です。

本セミナーは、最近の世界の経営学の動向の解説、トピックス的な理論の紹介、最先端経営学の実際のビジネスへの応用の仕方、最先端の経営学成果の論文のサーベイの仕方などを身に付けることができる内容となります。

3時間という限られた時間となりますが、濃密な内容となりますので、是非、多くの方々の御参加をお待ちしております。

●講師プロフィール:

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科・後期博士課程修了、博士号(Ph.D.)取得。京都大学大学院経済学研究科・修士課程修了、経済学修士。米国系銀行を経て、独立系ベンチャーキャピタルの創業に参画し、投資先ベンチャーや自社VCの上場を達成。元・大阪市立大学大学院・専任講師。米国ペンシルバニア大学及び上海交通大学にて在外研究。住友信託銀行の専門職を経て、2008年～現職。約8年で170社以上のコンサルティング実績。2016年アライアンスの数理モデル研究で、国際学会にてアワード受賞。著書に『新規事業立ち上げの教科書～ビジネスリーダーが身につけるべき最強スキル』(総合法令出版)、『世界のエリートが教えるちょっとした仕事の心がけ』(マイナビ新書)などがある。2017年4月～立教大学大学院MBA・教授(特任)に就任予定。

■本講座の内容

※当日の内容は、下記から、変更となる可能性があります。

- 世界の最先端経営学の動向
～急速に進む経営学の国際標準化と日本の経営学界～
- 経営学は、実際のビジネスに役立つのか?
～経営判断の指標としての経営学～
- 最も主流の経営理論・資源ベース理論(Resource-Based View)をまず理解する!
- RBVの応用としてのアライアンス研究
～経営資源の交換とマトリックス～
- 富田賢のアライアンスの数理モデル
～フロー・インテンシティとフロー・バランス～
- イノベーションにおける知の探索と知の深化
～コンピテンシー・トラップ～
- IoTの進展を経営学的に捉える!
～取引コスト理論とエージェント理論～
- アイデア発想における認知科学的な捉え方
～認知的に遠い収益機会～
- 新規事業チームのメンバーは、何人が適切か?
～ソーシャル・ロウフィン理論
- 人との強いつながりと弱いつながりのどちらが大切か?
～創造性の向上～
- MBA流問題解決の手法
～問題を分解し、事例から得た本質を応用させる!～
- デザイン思考の流れ
～計画・管理ではなく、ビジネスをデザインする時代～

■開催概要

- [日 時] 2017年2月8日(水) 14:00～17:00(13:30受付開始)
- [会 場] エッサム 神田ホール2号館 東京都千代田区内神田3-24-5
- [定 員] 100人(最少開催人員:40人※参加申込人数が最少開催人数に達しない場合は、開催を中止させていただきます。)
- [受講料] 一般:32,000円(税込)※「日経ビジネスDigital版セット」半年間購読付となります。
日経ビジネス読者:25,000円(税込)
プラチナ会員特価:16,000円(税込)
- [主 催] 日経ビジネス [協 力] 新社会システム総合研究所

お申し込みは
Webから

▶ <http://business.nikkeibp.co.jp/nbs/nbsemi/170208/>